



交流の場「ゆうあい喫茶」



松山教会正面

小教区紹介 松山教会 (愛媛)

愛媛県松山市の玄関口である松山市駅から徒歩で5分ほど、雑居ビルが並ぶオフィス街の一角に松山教会は建てられています。

主任司祭はドミニコ会のルイス・グティエレス神父様です。未信者の方がお昼時に聖堂を訪ねられることも多く、愛媛県庁に近い通りに面して教会に併設された「マリア書院」も、大切な宣教の場としての役割を果たしています。

主日のミサへの参加者は約200名、愛媛県中予の各地から信徒が訪れる松山教会が大切にしていることは多様な尊重です。

7つの委員会と、それを軸とした活動グループなど、10を超える信徒組織が教会典礼・青少年教育・カテケーシス・路上生活者支援・みことばの分かち合いなど、様々な活動と奉仕を日々続けています。

また、小教区の取り組みとして、若者男女の交流の場として毎月2回開催される「ゆうあい喫茶」、信徒の技能を生かした手作り品も並ぶ各種「サークル」、教会全体で生き生きとした交わりを創出することを重視しています。

多国籍の信徒が集う英語ミサも毎週行われ、聖霊降臨の国際ミサや小教区の行事でも日本人信徒との活発な交流が見られます。

教会関連施設の朝日ヶ丘のカトリック墓地では、松山教会の緑の深いドミニコ会修道女・神父の墓地や、山口宅助神父の手による浦上四番崩れの流調碑などから、信仰の先人達の足跡に思いを馳せる事も出来ます。



信徒で作った復活のレリーフ

愛媛の宣教130年の節目となる年を迎え、松山教会も新たな岐路に立たされています。現代に至るまで私達にカトリックの道を繋いで下さった兄弟姉妹に学び、今を生きる信徒達の思いを汲み上げ、新たな世代に信仰を託せるように「多くの部分」が主の教えのものと「一つの体」として一致出来る、そのような姿を目指して、は歩んでいます。

松山教会 桑田高明

20 『典礼奉仕』のために

典礼聖歌 その1 教会音楽も各国語で歌う 高松教区典礼委員長 谷口広海



高松教区典礼委員会は、①ミサ典礼書部分改訂の解説とスムーズな移行を目指すための取り組み、②ミサにおける典礼聖歌の歌唱法の共通理解浸透のための取り組み。

この2項目について、各地区、ブロック、小教区へ出向いて説明会開催を進めていく予定としています。この説明会の日取り等については各地区・ブロック・小教区との日程調整となりますが、出来る限り早期に進めていきたいと思います。11月16日(待降節第1主日)から正式に開始されるミサ典礼書部分改訂についてはカトリック中央協議会から詳しい解説が届いております。教区民がよりよくなる新しいミサ典礼に参加できるようにとの思いで、取り組みを進めます。



また、この教区報典礼コーナーでは典礼聖歌についての解説を順次掲載することによって、各地区における聖歌講習会への下準備に繋がることを期待しています。

この2項目について、各地区、ブロック、小教区へ出向いて説明会開催を進めていく予定としています。この説明会の日取り等については各地区・ブロック・小教区との日程調整となりますが、出来る限り早期に進めていきたいと思います。11月16日(待降節第1主日)から正式に開始されるミサ典礼書部分改訂についてはカトリック中央協議会から詳しい解説が届いております。教区民がよりよくなる新しいミサ典礼に参加できるようにとの思いで、取り組みを進めます。

ここで、大きく刷新されたものが、典礼教会の公の礼拝・祈りでした。原則、すべてがフレンチ語であったものが、各国語で行えるようになり、「典礼憲章」368(2)、福音に反するものがない限り、誕生したのが「典礼聖歌」です。

このように、典礼の刷新を受けて、日本のカトリック教会も、典礼の国語化に着手しました。典礼で用いられる式文も国語によるものが作られ、式文そのものを歌う、教会音楽も国語によるものを作る必要に迫られました。このようにして誕生したのが「典礼聖歌」です。

高松教区修道士連盟の総会が6月20日、小豆島・土庄教会で開かれ、講演と巡礼で、聖なる人 高山右近をしのびました。

高松教区修道士連盟の総会が6月20日、小豆島・土庄教会で開かれ、講演と巡礼で、聖なる人 高山右近をしのびました。

高松教区修道士連盟の総会が6月20日、小豆島・土庄教会で開かれ、講演と巡礼で、聖なる人 高山右近をしのびました。

高松教区修道士連盟の総会が6月20日、小豆島・土庄教会で開かれ、講演と巡礼で、聖なる人 高山右近をしのびました。

名古屋教区 松浦悟朗司教が着座

6月13日名古屋カトリック聖ペトロ・パウロ大聖堂で、松浦悟朗司教(62)の着座式が盛大に執り行われた。これまで名古屋司教として22年間努められた野村純一司教(77)から司教杖を受け取り、これからの名古屋教区の舵を取られることになる。式は司教・司祭団約1000人で執り行われ、名古屋教区民と



祝福を与える松浦司教

石碑等を訪れ、当時を偲んで感無量のひと時をすごしました。その後、信徒会館で昼食と総会を終え、イスマエル神父様と岩崎神父様の共同司式ミサに与りました。イスマエル神父様は、教皇様が奉獻年にお出しになった一すべてのことに賛美の紹介と、奉獻生活者が喜びと希望のうちに未来に向かうための具体的な例を懇々とお話しくださいました。

右近列福を待つ 高松修女連総会

高松教区修道士連盟の総会が6月20日、小豆島・土庄教会で開かれ、講演と巡礼で、聖なる人 高山右近をしのびました。

日向光徳氏による講話

小さな教会を支えて55年

普通寺教会 橋本 雍 さん (85歳)

橋本雍先生を私たちは親しみを込めて日頃は「先生」と呼んでいます。先生は、徳島県鳴門の出身で、今年85歳になります。



丸亀出身の同じ医師の奥様と結婚、奥様のお父様の琴平の医院を引き継がれました。普通寺は弘法大師の誕生地、またお住まいの琴平は金毘羅さんの門前町。その地にカトリック教会が出来て55年になります。小さな教会を今日まで支えてこられたお一人です。

医師の仕事の他、町の色々な役職をなされ、地域のために働いてこられました。今は息子さんが医院を引き継がれ第一線

を退かれましたが、時おり診察にもあたられており、まだ完全な隠居生活はできてはいません。受洗は20歳の時で、京都での学生時代は、アメリカの学生生活もあり、そのおかげで、祈りを大切にする姿勢は、私たちの模範です。

6年前に奥さまも洗礼を受けられ、夫婦二人でミサに来られます。医師の不養生とならず、先生がいつまでもお元気で私たちと一緒に祈りをお願いします。

普通寺教会 多田繁雄

普通寺教会 多田繁雄

ひと

橋本雍先生を私たちは親しみを込めて日頃は「先生」と呼んでいます。先生は、徳島県鳴門の出身で、今年85歳になります。

丸亀出身の同じ医師の奥様と結婚、奥様のお父様の琴平の医院を引き継がれました。

普通寺は弘法大師の誕生地、またお住まいの琴平は金毘羅さんの門前町。その地にカトリック教会が出来て55年になります。

小さな教会を今日まで支えてこられたお一人です。医師の仕事の他、町の色々な役職をなされ、地域のために働いてこられました。

今は息子さんが医院を引き継がれ第一線を退かれましたが、時おり診察にもあたられており、まだ完全な隠居生活はできてはいません。

受洗は20歳の時で、京都での学生時代は、アメリカの学生生活もあり、そのおかげで、祈りを大切にする姿勢は、私たちの模範です。

6年前に奥さまも洗礼を受けられ、夫婦二人でミサに来られます。医師の不養生とならず、先生がいつまでもお元気で私たちと一緒に祈りをお願いします。

普通寺教会 多田繁雄

高松・広島チーム善戦 司祭・助祭ソフト交流会

毎年1回、5月に西日本の5つの教区(長崎、福岡、大分、広島、高松)の司祭・助祭が集まってソフトボールの試合をする交流会が行われます。今年はその交流が新しく参加することになり、6つの教区が参加しました。高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。



総勢100人を超える司祭団

今年度の交流会は長崎教区が担当で5月25日(月)長崎を皮切りに、高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

今年度の交流会は長崎教区が担当で5月25日(月)長崎を皮切りに、高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

高松教区は一つのチームが作れないので広島教区と共同でチームを作って参加します。

教区スケジュール

7月 1日(水) 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 記
3日(金) (初金) 聖トマ使徒 祝
4日(土) オペラ「高山右近」 in高松 17:00
5日(日) 年間第14主日 オペラ「高山右近」 in松山 15:00
12日(日) 年間第15主日
14日(火) 司祭評議会 10:00~12:30 諸委員会委員長会 13:30~15:30
19日(日) 年間第16主日
20日(月) 海の日
25日(土) 聖ヤコブ使徒 祝
26日(日) 年間第17主日 高山右近祭 in小豆島 13:00
27日(月) 四国カトリック幼稚園連合会職員研修会 in高松 14:00 (~28日)
8月 2日(日) 年間第18主日「平和への祈りコンサート」 in高松
6日(木) 主の受容 祝 広島平和記念日 日本カトリック平和祈問 (~15日)
9日(日) 年間第19主日 長崎原爆の日
12日(水) 下田武雄節命日 (4回忌)
15日(土) †聖母被昇天 祭 終戦記念日
16日(日) 年間第20主日 平和を願うミサ (主日ミサ) 予定
22日(土) 天の元后聖マリア 記
23日(日) 年間第21主日
27日(木) 聖モニカ 記 佐々木光雄節命日
28日(金) 聖アウグスチヌス司教教会博士 記
30日(日) 年間第22主日

今年も盛大にルルド祭 再発の三本松教会

今年も三本松教会で恒例のルルド祭が盛大に祝われた。これまで高松教区行事として位置付けられていたが、今回から、小教区行事となったため、例年と比べて参加者の減少が予想されていたにもかかわらず、昨年同様、香川県全域と徳島県から司祭10名を含む135名ほどの参加があり、盛大なルルド祭となった。

今回のルルド祭は外国籍信徒も多数参加し、ルルドの聖母を讃えるロザリオの祈りから始まりミサ聖祭も英語を交え、国際色が前面に出た催しとなったことが特徴と云える。三本松小教区は、典礼暦の頂点といわれる聖なる三日間と復活祭に水主の霊性センター棟への引越越しを終えたばかりで、ルルド祭開催まで、色々な曲折を乗り越えながらの準備となったが、次回開催を占う上でも、有意義なルルド祭となったことは間違いないようだ。

そういった中で、小教区の典礼の仕事やルルド祭、そして引越越しにも積極的に奉仕をされていた姉妹信徒の突然の訃報に見舞われるという事態にも遭遇したが、彼女の分まで信徒全員が更にまとまるきっかけともなった。



背景にあるルルドのほころが隠れてしまうほどに集まった信徒たち

「いっばいしゃべった」 子どもと中学生の集い

「子どもと中学生の集い」は教区の「青少年委員会」(委員長Br八木)の活動の一つとして実施される集いで毎年、各県を回り、青少年委員会のメンバーと信徒の皆さんの協力によって実施している。内容は子どもたちの福音の教えの理解と実践への取り組みである。寸劇をしたり、絵を描いたりして理解したことを分かち合う。青年たちがリーダーとなって、歌やリクレーションも織り交ぜながら活気づけ、楽しい集いになるように心がけ、これからも多くの青少年の参加を期待している。



高知城で微笑む子供達

わたしは子どものついでにさんかしました。今年で2回目です。去年とても楽しかったのですが、今年も楽しみにしていました。リーダーのお姉さんやシスターやグループの友達がやさしくて、いっばいしゃべりました。道後教会 福原優葉

集い祭儀司式者・聖体奉仕者 徳島地区で6人を任命

徳島地区では、このたび6名の信徒が集い祭儀司式者と聖体奉仕者の認定書を諏訪司教様より頂き、身に余る光栄だと感動致しました。私も洗礼名、アシジの聖フランシスコの御名を汚さぬよう、一生懸命がんばりたいと存じます。

徳島教会 片山光男

- ①林 広 鳴門教会
②吉岡美代子 阿南教会
③三原千栄子 鳴門教会
④松本 良子 阿南教会



国外国籍信徒と共に交わる 和気あいあい聖歌交流会&ミサ

昨年まで5回に亘り実施してきた「聖歌合戦」は、今回から、司教司牧書簡の長期ビジョンの中、本年度の2つの柱の1つである外国籍信徒司牧(ICC)の充実を図るための企画と位置付け、日本のカトリック教会は日本人のみの教会ではないという共通意識と理解を期待し、「国際聖歌交流会&ミサ」として開催することにしました。



今回初参加で歌うドミニカシスターズ

会場は桜町司教聖堂には聴衆を含め、140人が集まり司祭団、シスターズ、ICC、小教区などから9チームが聖歌を主を讃え、続くミサでは英語、タカログ語、ベトナム語で祈りと賛歌を捧げ、ミサ後はそれぞれ持ち寄った自慢料理に舌鼓を打ちながら互いのお国言葉と談笑のうちにすみました。

聖ドミニコ宣教修道女会
神を觀想し、その実りを人々に伝えよ
東日本大震災大船渡支援 献金入金票(含米券) (4月22日~6月30日分として) 7万654円
累計(7月1日現在) 1千637万5982円

T S C 便り 東日本大震災復興支援全国会議報告 上

私は42年間マルチン病院で看護師を勤め、今年5月末で退職しました。その頃、復興支援の事を聞き、私にも何か出来ないかと曾我部輝子さんと2人で参加しました。6月29日宮古教会へ行き17名の参加者と合流後、北海道の方で宮古ベースの町でNPO法人カリタス金



支援内容も様変わり 左:平川氏 右:曾我部氏

これまでの「全国担当委員会」が今回から「全国会議」と衣を替え、一般信徒を交えての「東日本大震災復興支援第5回全国会議」とし、6月28日から3日間の日程で開催された。各教区の震災復興担当者、修道会担当者や信徒が参加する中、高松教区からも4名が参加し、早速に報告して頂いた。田さんから、被災地の状況報告を聞きました。札幌教区は震災津波直後の3月18日(サボトセンター)を立ち上げ、北海道からフェリーと陸路で12時間かけて宮古入りしたこと等聞き、その後、祈りのうちに小野寺神父様(仙台教区司教代理)のガイドで大船町に向かいました。大船町の街並みだった場所や役所や病院は朽ち果てた情景でした。昼食後、復興状況を聞き、かさ上げ工事現場を見学しましたが、膨大な土地に7mのかさ上げが急ピッチで進んでいました。次に向かった釜石大只越の土地と代替地の差額の矛盾など、多くの問題につきましました。

医療法人社団聖心会 阪本病院
わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指します
院内保育園完備
整形外科・脳神経外科・泌尿器科 皮膚科・外科・消化器外科 耳鼻科・眼科・形成外科 呼吸器科・呼吸器内科・内科 リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒760-2002 香川県東かがわ市川原103-1 ☎0879-25-1121 (代) http://www.sakamoto-hosp.or.jp/

暁の星学園
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園
私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう